

第2学年 学級活動（2）指導案

1 題材 どう画サイトを楽しくあんぜんに見よう（カ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成）

2 特に意識したい道徳的価値と内容

よいことと悪いこととの区別をし、よいと思うことを進んで行うこと。 A－（1）

3 題材について

様々な調べ物をしたり、画像や動画を見たり、買い物をしたり、仲間同士で交流をしたりと、インターネットや携帯電話は今や当たり前に使われるようになってきている。しかし、便利に使われるようになった反面、ネットを介した詐欺、誹謗中傷、人間関係の悪化、ウイルスによる妨害など、トラブルの増加も指摘されている。現在の小学生の多くは、生まれたときからすでにインターネットや携帯電話が身近にある環境にあり、生活に根付いた、あって当たり前の道具となっていくことになると考えられる。そのため、携帯電話を持たせない、インターネットを利用させないと否定するよりも、それらの利便性の高さと危険性をふまえた特性を年齢の低いうちからきちんと伝えて、安全に使うための知識や態度を身につけておく必要があると考える。「動画サイト」も、児童にとって身近なインターネットを用いたツールである。児童は、様々な動画サイトから音楽や演芸などの娯楽を鑑賞したり、動画によってわかりやすく知ったりすることができる。しかし、動画を見始めると、すぐには止められずに生活が不規則になったり、悪質なサイトにアクセスしたりする場合も考えられる。そこで、児童が普段見ている動画サイトについて自分の視聴の仕方について振り返り、視聴する上で気をつけたいといけなことを知り、動画サイトを適切に視聴できるよう判断力を育てていきたいと考え、本題材を設定した。

昨年度、淀江小学校でアンケート調査をした結果、YouTube やニコニコ動画などの動画や画像サービスを利用した児童85%、保護者は81%だった。ほとんどの児童が、動画・画像サイトを利用しており、児童の方が保護者よりも多く利用していることが伺われる結果だった。本学級児童23人に調査した結果、次のような結果であった。

「どうがサイト」をみたことがありますか。 見たことがある 22人
「どうがサイト」1しゅう間に何日ぐらい見ますか。 ほとんどまい日見る 7人
見るときはどれくらいの時間見えていますか。 1時間より多い 9人
「どうがサイト」をみるとき、家の人とのやくそくはありますか。 ない 9人

多くの児童が動画サイトを視聴しており、視聴している児童の半数近くが家の人との約束がないことがわかったので、自分が動画サイトを視聴している実態を振り返り、家族と話し合っって視聴していく必要があると考えた。

指導にあたっては、「つかむ」では、動画についての事前調査の結果を示し、本時の課題に迫る。低学年の児童が興味を持って学習できるよう、登場人物の提示の仕方を工夫する。「さぐる」では、なぜ動画サイトを見るのがやめられないか問いかけ、その登場人物や自分の行動から考えさせて、原因をさぐるようにする。「見つける」では、動画サイトを視聴することのよさや問題点を補足した上で、動画を視聴する際の改善点についてペアで話し合わせ、多様な意見が出るようにしたい。「決める」では、話し合った意見を参考にして、自分に合った取り組み方を考えさせ、動画を視聴する際に気をつけることを自己決定できるよう助言する。また、事後指導としては、ワークシートを利用して振り返り、メディアの利用について生活の改善を図ることができるようにする。そのために家庭の協力を得ながら、学習したことを親子で話し合うようにする。また、動画サイトを見ていない児童に対しては、テレビ等のメディアに置き換え考えさせるように働きかけたい。

4 第1学年及び第2学年の学級活動(2)の評価規準

観点	集団活動や生活の 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
評価規準	自己の身の回りの問題に関心をもち、進んで日常生活や学習に取り組もうとしている。	学級生活を楽しくするために日常生活や学習の課題について話し合い、自分に合ったよりよい解決方法などについて判断し、実践している。	学級生活を楽しくすることの大切さ、そのための基本的な生活や学習の仕方などについて理解している。
目指す児童の姿	○自分の生活を振り返り、動画サイトの安全な視聴の仕方に関心を持ち、自分の決めた方法で視聴しようとしている。 【関心・意欲・態度】 ○生活や安全面に気をつけ自分の合った動画サイトの視聴の仕方を考え実践できる。 【思考・判断・実践】		

5 活動と指導の見通し

	活動内容	いつ	指導上の留意点・資料	目指す児童の姿と評価方法 ・評価【観点】(方法)(☆) ・授業改革の10の視点(★)
事前	・動画に関する実態調査を実施する	11月2日(木) 11月6日(月)	・動画サイト及び、インターネット環境の実態調査(保護者) ・動画サイトの実態調査(児童)	★①魅力的な課題・教材の提示
本時	・協同思考による、個人目標の設定	12月7日(木)	本時の展開参照	本時の展開参照
事後	・自分が決めた目標について家庭で話し合い、1週間後に振り返りカードを書き込む。	12月15日(金)	・実践の様子を1週間後に報告し、児童同士でより楽しく安全な視聴の仕方をしていこうとする機会を設ける。	☆【思考・判断・実践】 ・動画サイトの視聴の仕方を自分の決めて、実践しようとする努力している。 (観察・チェックカード) ★⑧学習を振り返る活動の設定

6 本時の指導

(1) 本時のねらい

動画サイトを視聴する上で気をつけることを知り、生活リズムや安全面を意識した視聴の仕方をしようとする態度を育てる。

(2) 本時の展開

段階	学習活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法 ・評価【方法】(☆) ・授業改革の10の視点(★)	資料	時間
つかむ	1 自分のよく視聴している動画サイトを確認する	○アンケートの結果を示しながら考えを共有する。 高学年の実態を知らせ将来増える可能性があることを伝え、見通しを持って、自分の課題として捉えさせる		・アンケートの集計結果 ・動画サイトの写真	5分

	2 資料から課題を知る。	○児童の興味を引き出すために児童が視聴している動画の番組を発表させる。 ○資料を提示し、本時の課題をつかみ、自分自身の日常生活に置き換えて考えられるようにする。	☆【関心・意欲・態度】 自分の課題として問題意識をもっている。 (観察・発言)	・ミクシ君の絵 ・資料「どうがサイトを見る時、気をつけることを考えよう」	10分
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> どう画サイトを楽しくあんぜんに見る方ほうを考えよう </div>					
	3 本時の学習でめざすゴールを理解する。	○自己決定カードを示し自分で決めたことと、家の人と話し合った内容や約束を書くことを知らせる。		・自己決定カード(拡大したもの)	5分
さぐる	4 資料を見て、動画を見るのがやめられない理由を考える。 5 「動画サイト」を視聴する際には、他にも気をつけなくてはいけないことがあることを知る。	○資料の主人公と自分を比べさせ、自分にも当てはまる場所はないか考えるように促す。 ○「見過ぎないようにする」以外に、楽しく安全に動画サイトを視聴する上で気をつけることを知らせる。 ・サイトを見ている内に多額の課金をされる場合がある。 ・怖い動画、見ていて、いやな気持ちになる動画が出てくる場合がある。 ・スマホやパソコンが壊れて使えなくなることがある。	★⑤説明・発表の機会の充実	・イラスト資料	10分
見つける	6 「楽しく安全に見る」ために気をつけなければいけないことをペアで話し合い、解決策を発表する。	○机間指導をし、話し合いが進みにくいペアには助言をする。 ○ペアで考えた解決方法を短冊に書いて提示し、自己決定の参考になるようにする。 ・時間を教えてもらう。 ・大人にそうだんする。 ○児童から出た意見について、検討し確認し合う。 ○児童から出なかった場合は教師からよい面を	★⑥学び合う活動の充実		10分

		知らせる。 ○ルールを守るとどんなよいことがあるかを考えさせる。			
決める	7 「動画サイト」を視聴する上で気をつけたことをワークシートに書く。	○板書や友達の意見を参考にして、自分に合った具体的な方法が決定できるようにする。 ○決めたことを発表させ互いに励まし合い実践への意欲へとつなげる。	☆【思考・判断・実践】 自分にあった動画サイトの視聴方法を決めている。 (観察・ワークシート) ★⑧学習を振り返る活動の設定	・ワークシート	10分

(3) 事後指導

- ・1週間実施して、自分のめあての達成や課題の克服ができたか振り返って自己評価したり、友達同士で紹介し合ったりして、認め合う場を設ける。
- ・児童が頑張っている様子を学級通信で家庭に伝える。

7 板書計画

